

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 3年 1月 5日

協議会名:加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
加賀温泉バス(株)	(路線名)温泉片山津線 (運行区間)加賀温泉駅～片山津温泉～石川病院～湖城団地～加賀温泉駅	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。周遊クーポンの金沢市内乗車券窓口での販売については調整がつかず中止した。	B 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施していない点があった。	B コロナ禍により、定期外の観光利用が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は11.70人と目標の14人を下回った。	加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。周遊クーポンの金沢市内乗車券窓口での販売についてはコロナ感染の状況を鑑みて再検討する。
加賀温泉バス(株)	(路線名)山代大聖寺線 (運行区間)山中温泉～山代温泉東口～上河崎～大聖寺駅～大聖寺実業高校・かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。また、沿線小学校の登下校に利用しやすいダイヤ改正を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A コロナ禍による学校休校の影響を一時的に受けたものの、1便あたり乗車人員は11.29人と目標の9人を上回った。	加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。学生の利用促進のため、登下校に使いやすいダイヤ編成及び運賃制度を検討する。
加賀温泉バス(株)	(路線名)温泉大聖寺線 (運行区間)加賀温泉駅～松が丘～大聖寺駅～かが交流プラザさくら	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。学生利用促進のためのダイヤ編成等については他の関連路線を含めた形で再度検討する。	B 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施していない点があった。	B コロナ禍により、定期外の利用が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は4.26人と目標の6人を下回った。	加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。学生の利用促進のため、登下校に使いやすいダイヤ編成及び運賃制度を検討する。
加賀温泉バス(株)	(路線名)吉崎線 (運行区間)加賀温泉駅～上河崎～大聖寺駅～塩屋	今年度も引き続き、MM施策として加賀市の協力のもと、加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B コロナ禍により、定期外の利用が減少したことが影響し、1便あたり乗車人員は9.91人と目標の11人を下回った。	加賀市内全世帯と高校の新入生に時刻表を配布する。学生の利用促進のため、登下校に使いやすいダイヤ編成及び運賃制度を検討する。
日本海観光バス株式会社	(路線名)キャンバス空港線 (運行区間)加賀温泉駅～片山津温泉～小松空港	沿線住民に割安回数券の利用促進。 Wi-Fi設置によるサービス向上。 大手航空会社とのバック商品化による利用促進に努めた。	B 当初は、計画的に位置づけられた通り、適切に実行されました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客の激減と、航空機運行減便により、令和2年5月～令和2年10月まで全便運休となりました。	B 令和元年10月1日～令和2年2月までは、1便当たり3.75人と目標の5人を下回った。令和2年3月からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月～4月は1.06人となり、目標には届かなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響によって、異例の休止を余儀なくされたが、11月より運行を再開しており、ダイヤ編成やICカード導入等による利便性向上を図りつつ、適切な運行を維持する。

MMとは mobility management の略で利用者にとって交通サービスを使いやすいよう、維持改善に努める取り組み全般を指す言葉です。